

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	36260
事業名	さっぽろ夢農業人育成支援費					
評価担当課	所属名	経)農政部 農政課				
	課長名	石橋英二	担当者名	高杉実	電話番号	011-211-2406
施策名	主	自然との共生とみどり豊かな都市づくりの推進				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	新規就農者を支援し農業の担い手を確保する。			
		長期	多様な担い手を育成・確保することにより、本市の農業の維持、農地の保全となり地域農業の活性化及び持続的な発展となる。			
	取組内容	○経営が安定しない新規就農直後の所得を確保し、経営の定着を図るための農業次世代人材投資事業(経営開始型)の交付(年間最大150万円を最長5年間)○新規就農者に対し就農時に必要な小型農業機械の購入等に対して補助。(補助率1/2以内)○新規就農者の経営相談会や販路拡大のためのマルシェの開催、講習会開催による経営力の向上支援・女性農業者等の多様な担い手の育成確保 ○地域農業者の話し合いによる人・農地プランの策定。				
実施結果	農業次世代人材投資事業(国費事業):就農後5年以内の新規就農者9件に対し資金を交付し、経営基盤の安定を図った。札幌市新規就農支援事業補助(札幌市費事業):新規就農者7件に対し、小型農業機械や小規模な施設整備等にかかる補助を行った(補助対象事業50万円以下、補助率1/2以内)。新規就農者を対象とした農業経営にかかる講習会や経営相談会、女性農業者の研修にかかる活動支援を行った。					
事業実施における工夫点	新規就農者のサポートチームとして、行政機関や農協のほか、地域におけるベテラン農業者である北海道指導農業者・農業士、また地域の農地利用最適化推進委員など関係者が協力して支援を進めている。					
対象者	農業研修生、新規参入者、女性農業者等	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	農業人材力強化総合支援事業実施要綱、北海道農業次世代人材投資事業実施要領、北海道農業次世代人材投資事業補助金交付要領					
他都市の状況	農業次世代人材投資事業(経営開始型)は、国の事業であり全国で実施される。 市町村における担い手支援事業:北広島市「農業後継者等育成事業」石狩市「後継者・就業予定者研修支援助成」岩見沢市「新規就農サポート事業」旭川市「新規就農者営農開始支援補助金」					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	10,449	23,000	14,538	14,000	
うち特定財源	499	18,000	12,594	9,000	
人工	2.2	0.0	0.0	3.2	
人件費	15,840	0	0	23,040	
計(事業費+人件費)	26,289	23,000	14,538	37,040	
事業費の内訳	令和3年度決算	農業次世代人材投資事業(経営開始型):国費事業:12,594千円、札幌市新規就農支援事業補助金:札幌市費事業:1,422千円、その他講習会講師謝礼、研修会講師謝礼など報償費ほか522千円			
	令和4年度予算	農業次世代人材投資事業(経営開始型):国費事業:9,000千円、札幌市新規就農支援事業補助金:札幌市費事業:2,000千円、その他講習会講師謝礼、研修会講師謝礼など報償費ほか3,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	農業次世代人材投資資金を交付する新規就農者の延べ人数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	28経営体	32経営体	29経営体	30経営体	
	指標名				
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	指標名	青年等就農計画の認定を受けた新規就農者数(AP2019)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標1	23経営体	25経営体	24経営体	27経営体	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	項目	判定	理由		
	事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	高齢化と担い手不足が進む札幌の農業生産現場において、あらたな生産者を育成している。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	農業次世代人材育成支援事業は農林水産省の定める支援規模である。札幌市費の事業について、国の事業などの対象にならない案件のサポートを行うもので、妥当な規模である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	サポートチームの運営を通じて関係者の協力をいただきながら事業を進めており、手法は妥当である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	講習会開催時の内容アンケートでは、参加者全員が満足したと回答している。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	なし				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	農業者の高齢化が進む中、新たな農業の担い手育成・支援策を今後とも継続する必要がある。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 国の支援メニューの改変に対応した変更・拡充を行う。			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 国の支援メニューの追加にともなう拡充をおこなう。		見直し効果額	0